

建交労 全国トラック部会

# 全国トラック部会ニュース

2023年度

# NO.1

(通算 NO.18)

2022.11.29

## 第24回総会を43名の参加で開催!

2023年度方針・新トラック政策・役員体制を確認



全国トラック部会は11月27日、静岡県伊豆長岡「ホテルサンパレー富士見」で第24回総会を総勢43人で開催しました。第24回総会は、建交労中央春闘討論集会終了後に開催され、2023年春闘を奮闘すべく全国の仲間が結集し、トラック業界での働き方が大きく変わろうとしている中で開催されました。

冒頭に足立部会長の挨拶として、「一年間全国トラック部会はトラック労働者の要求実現に向け奮闘してきた。改善基準告示の見直しに向けた議論がおこなわれ、2024年春から適用されることになっている。見直しされた内容は、私たちが思い描いてきたものとはほど遠いものであり、本当の意味での改善になるのかという思いである。また、全国トラック部会の新しいトラック政策の確認を本総会でおこないます。この政策をどう職場などで反映させ運動に活かすのかが求められています。そのためにも本総会で議論し、実践をしていこう。」と挨拶されました。続いて角田中央執行委員長から挨拶がおこなわれました。

議案提案においては、鈴木事務局長から2022年度活動報告とまとめと2023年度方針、2022年版トラック政策が提案されました。討論では、部会役員による特別報告を含めて19人が討論に参加し、多くの組織が組織拡大運動をとりくみ、運輸産業の2024年問題への対応に奮闘していることなどが報告されました。

神奈川県南支部からは三昭運輸分会の争議について和解解決の報告。関西合同支部太陽液送分会大田貨物班からは争議報告とあわせて高裁での公正な判決を求める署名の訴え。上信トラック支部においては2024年問題について協議を進め、月284時間をクリア。さらには春闘においてストライキも辞さない構えでベースアップを実現と一時金10%増を獲得したことなどが報告され、活動報告と方針が補強されました。

総会は、新トラック政策をはじめ2023年度役員体制を含むすべての議案と「総会宣言」を採択した後、新旧役員あいさつ、足立部会長の団結がんばろうで閉会しました。(確認した総会宣言は別紙)

# 総 会 宣 言

全国トラック部会第 24 回総会は、トラック業界での働き方が大きく変わろうとしている中で開催された。

コロナ禍が続くこの一年、我々は萎縮や自粛をせずに要求闘争を確実に進めてきた。

物流業界での“働き方改革”は、一進一退を繰り返しながらも前進している。この間進められた『改善基準告示』の改正論議は、業界の現実に押し切られる形になったものの、総拘束時間の短縮や休息期間は一步前に進んだ。例外規定は多くなったが、それを認めさせないたたかいが我々に課せられている。

円安、燃料高騰、諸物価高騰、トラックメーカーの不祥事など我々の周りには、多くの難題が山積している。中小企業の経営体質改善、労働者の賃金引上げは待ったなしのたたかいとなっている。2020 年に告示された“標準的な運賃”は、実質的には機能されていない。恒久的な標準運賃を求める声は高まっている。荷主言いなりの取引環境を変えなければ、運送業界の崩壊は免れない。国も省庁を横断してその改善に取り組んでいるも自らの力で開拓するしかない。高速道路の入り口近くで“時間待ち”をするトラックが後を絶たない。少しでも安い高速道路料金でコスト削減をする姿を見るにつけ、トラック業界の社会的地位向上は待ったなしの問題だと感じる。トラック業界は「長時間・低賃金だ」とする常識は変えなければならない。そのためには、荷主の言いなりになって物を運んでいた時代を終わりにしなければならない。業界の人手不足解消に向け、労働時間の短縮と賃金の引上げ！の声を大きくしなければならぬ。

社会生活に欠かせない物資輸送に働く者が年々年老いている。疲弊する社会を象徴しているのだろうか？若者や女性が働きやすくしていくことは、喫緊の課題である。長年の慣習が、若者や女性の就労を妨げているならば、その原因を探り、改善しなければならない。もう一度、現場を見直し、改善を日々の課題として取り組もうではないか。

トラック業界は、魅力ある業界だ。胸を張って言える時代は、必ずやってくる。そして笑顔に包まれた職場で、働こうではないか。

健康で文化的な生活をおくるためにも物資輸送は欠かせない。物資不足は、貧困を生み出し、やがて紛争に発展する。安定した物資輸送の確保は、平和な暮らしにつながり、戦争回避もできる。物資の安定は、平和の維持に他ならない。先人たちは「軍事輸送より生活輸送を」を合言葉に戦争に反対し、憲法九条を守ってきた。

モノ運びは、幸せ運びである。要求に自信を持ち、委縮も自粛もしない運動の展開と労働者の状態改善を進め、3 万人建交労トラック部会を実現しようではないか！

以上、宣言する。

2022 年 11 月 27 日

全日本建設交運一般労働組合 全国トラック部会 第 24 回総会